



Agilent Technologies

Agilent 1260 Infinity Multi-GPC/SEC System



1260 Infinity LC

1260 Infinity MDS

● 検出器の組み合わせは自在



1260 Infinity MDS
示差屈折率検出器



1260 Infinity MDS
粘度検出器



1260 Infinity MDS
光散乱検出器

● MDS は 1260 Infinity LC や 1100seriesLC だけでなく、 どのメーカーの LC にも接続 OK です。

- ★ 総合的：複雑なマルチ検出器の GPC オペレーションを単純化
- ★ 簡便性：既存の検出器からのデータを取り込みと解析が可能
- ★ 凡庸性：どのメーカーの LC に接続可能
- ★ 高品質な結果：どの検出器も優れたベースライン安定性と高い S/N 比性能
- ★ 順応性：検出器の追加は、いつでも OK
- ★ 安全性：溶媒のリークセンサーを複数内蔵



1260 Infinity LC MDS (マルチ検出器)



1260 Infinity MDS 示差屈折率検出器

- New セルデザイン：わずか 6 μ L の最小のセルボリューム
- セルヒーターコントロール；検出器は、30°C と 60°C の間で温度コントロールが可能
- 独自のハイバックプレッシャーデザイン：この独自技術により検出器を直列に接続することで、分岐配管が不要



1260 Infinity MDS 粘度検出器

- シリカキャピラリー技術：正確で再現性が高く、究極のブリッジバランスを構築
- セルヒーターコントロール：30°C-60°C の温度範囲で加熱することで、優れたベースラインの安定性
- 高感度トランスデューサー：低い分子領域において優れた S/N 比性能

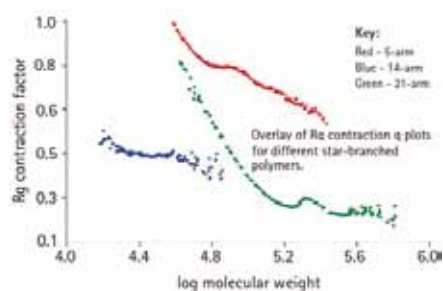
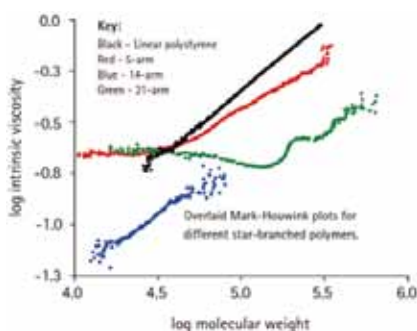
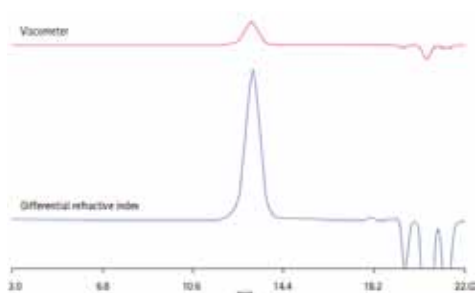


1260 Infinity MDS デュアルアングル光散乱検出器 (15° と 90°)

- New セルデザイン：わずか 10 μ L の極小のフローセルにより、ピークブロードも最小限
- セルヒーターコントロール技術：30°C-60°C の温度範囲で加熱することで、優れたベースラインの安定性
- デュアルアングル測定：シングルセルでの同時測定で、絶対分子量と回転半径 (R_g) を計算可能



アプリケーション例：星型分岐ポリマー



多くの市販ポリマーは、比較的容易に星形の分岐を作成することができます。

濃度検出器（通常は屈折率検出器）を粘度計と組み合わせた GPC の使用は、物質の分子量を測定するだけでなく、星型の分岐構造を研究するために使用することができます。

☆Agilent GPC/SEC システム (※別紙カタログをご参照ください)



再現性
Agilent 1260 Infinity



精度
Agilent 1260 Infinity MDS GPC



専門性
Agilent PL-GPC 50



パワー
Agilent PL-GPC 220



サンプル前処理システム
Agilent PL-SP 260VS

販売店

エーエムアル株式会社

〒152-0031 東京都目黒区中根 2-13-18 第百生命都立大駅前ビル 5F

TEL: (03) 5731-2281 FAX: (03) 5731-2283 URL: <http://www.amr-inc.co.jp>

Email: marketing@amr-inc.co.jp

